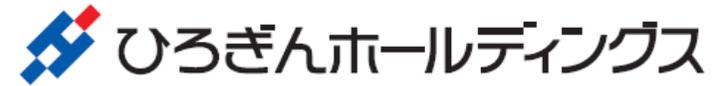


未来を、ひろげる。



# 最近の広島県経済の動き(2024年9月)

2024年9月

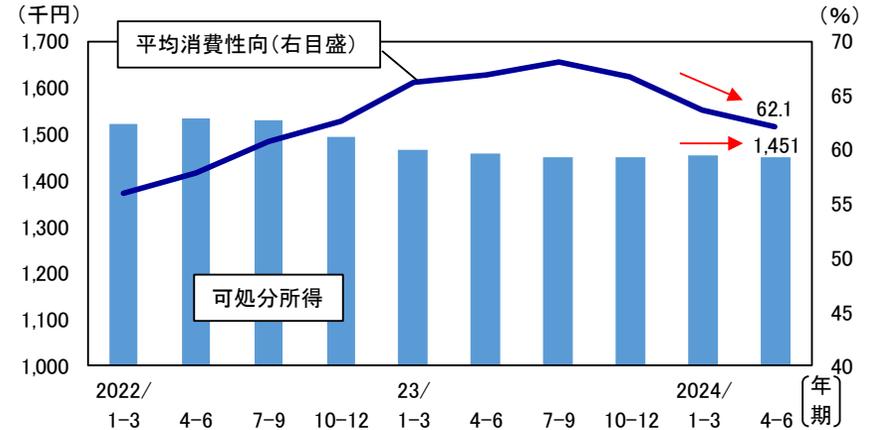
株式会社ひろぎんホールディングス  
経済産業調査部

I.	最近の注目点	P.2
II.	景気の基調判断	P.3
III.	主要項目の動き	P.4-14
IV.	主要経済指標	P.15-16

- ◆ 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ◆ 本資料は、信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容等は作成時点のものであり、今後予告なく修正、変更されることがあります。資料のご利用に関しては、お客さまご自身の責任において判断なされますよう、お願い申し上げます。
- ◆ 本資料に関連して生じた一切の損害については、責任を負いません。その他、専門的知識に係る問題については、必ず弁護士、税理士、公認会計士等の専門家にご相談のうえ、ご確認ください。
- ◆ 本資料の一部または全部を、当社の事前の了承なく複製または転送等を行うことを禁じます。

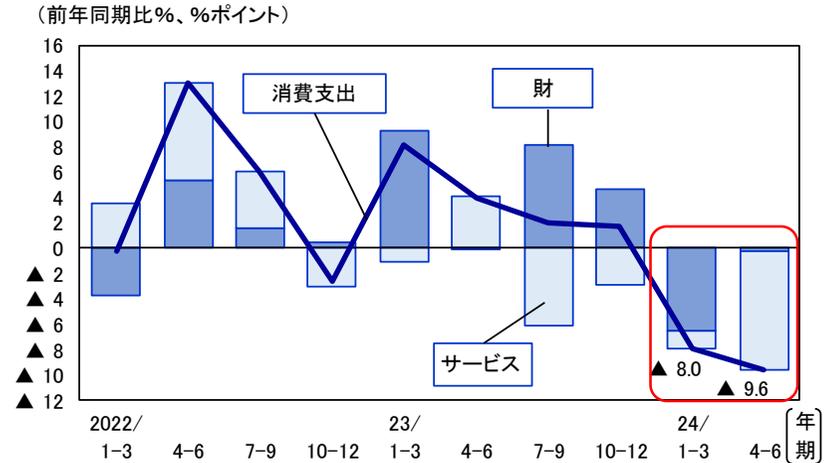
- 2024年4-6月期における広島市の世帯当たり可処分所得（3四半期移動平均値）は1,451千円（前年同期比▲0.4%）となり、ほぼ前年並みの水準で推移しています。
- 一方、平均消費性向（消費支出÷可処分所得）は62.1%と、2023年7-9月期をピークに低下傾向を辿っています。すなわち、可処分所得の伸び悩みと物価上昇等が続く中で、家計が消費支出を抑制している様子が窺われます。
- 実際、世帯当たりの消費支出額は2024年に入り前年割れに転じています。1-3月期（前年同期比▲8.0%）のマイナスは自動車の不正認証問題の影響で財支出が大きく落ち込んだことが主な要因ではありますが、4-6月期（同▲9.6%）のマイナスは専らサービス支出の不振によるもので、直近期まで4四半期連続して前年を下回っています。
- サービス消費は家計の消費支出の約4割を占め、この中には外食、教養娯楽など所得の増減や消費マインドの強弱に左右されやすい「選択的費目」も多く含まれます。
- 先行きの県内の個人消費は、春闘の賃上げやボーナスの増加、さらには減税などの政策効果といった所得環境の改善と物価上昇の鈍化傾向から緩やかながら回復に向かうと期待されますが、サービス支出の持ち直しが消費マインドの改善度合いをはかる上でのポイントの一つになりそうです。

可処分所得と平均消費性向の推移（広島市）



(注) 2人以上の勤労者世帯における3四半期移動平均値  
 (資料) 総務省「家計調査」より当部作成

世帯当たりの消費支出額の推移（広島市）



(注) 2人以上の世帯、棒グラフは寄与度  
 (資料) 総務省「家計調査」より当部作成

- 最近の県内経済は、海外景気の減速の中で、輸出や生産活動の一部に足踏み感がみられるほか、個人消費がやや弱含むなど、回復テンポは鈍化しつつある。

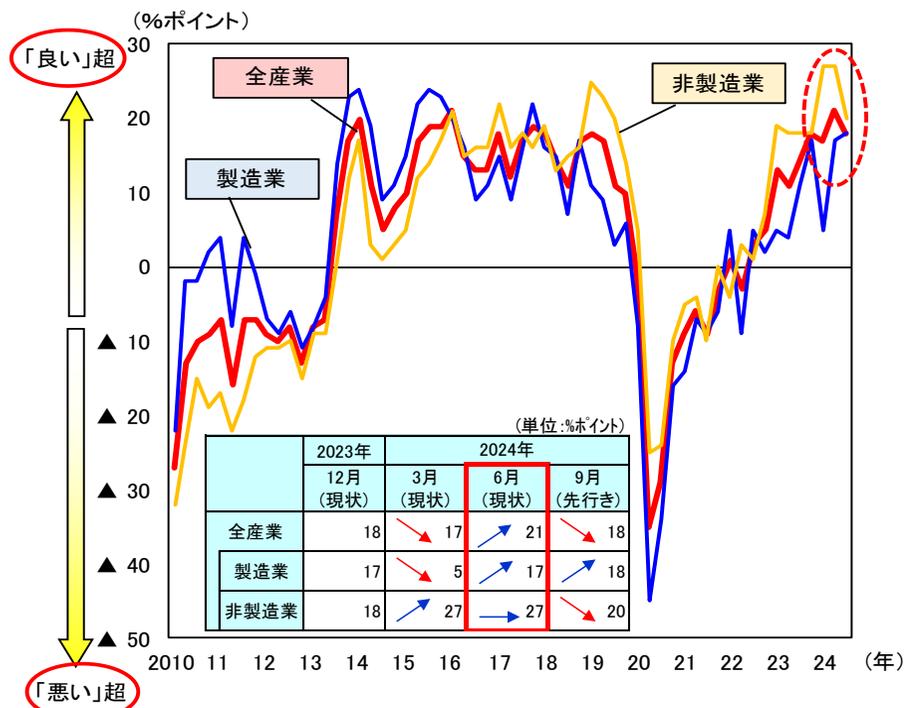
項目	天気図	方向感	コメント
景気の基調判断			最近の県内経済は、海外景気の減速の中で、輸出や生産活動の一部に足踏み感がみられるほか、個人消費がやや弱含むなど、回復テンポは鈍化しつつある。
輸出			輸出金額は円安を背景に前年を上回って推移している。ただし、足下では中国向けが引き続き低水準にとどまっているなど、足踏み感がみられる。
生産活動			生産活動は足踏み感が強い展開。電子部品・デバイスが好調に推移しているものの、主力の自動車のほか、一般機械や鉄鋼でも弱めの動きが続いている。
設備投資			日銀短観2024年6月調査によれば、2024年度の設備投資計画額は前年度比+30.6%と2桁増加の見込み。企業の投資意欲は強く、県内企業の設備投資は堅調な推移が見込まれる。
個人消費			個人消費は物価高に加え、自動車の不正認証問題もあって家計消費支出がマイナスで推移するなど、全体として弱めの動きがみられる。
住宅投資			2024年6月の新設住宅着工戸数は前年比マイナス。住宅価格の上昇が続く中で、低迷が続いている。
公共投資			公共工事請負金額は、減災・防災など国土強靱化の動きの中で高水準が持続。今後も底堅い推移が見込まれる。

# 1. 景況感

- 日銀短観（2024年6月調査）によれば、広島県内企業の業況判断DI（※）は+21%ポイント（前回調査比+4ポイント）に上昇。非製造業は横這いであったものの、前回3月調査で自動車を中心に大きく悪化した製造業が+17%ポイント（同+12ポイント）と改善した。先行きは製造業が底堅い推移を見込む一方で、非製造業はやや慎重な見方となっている。
- なお、景気ウォッチャー調査の中国地方の現状判断DIは景気判断の目安となる「50」を下回っているものの、直近では上向きの兆しもみられる。

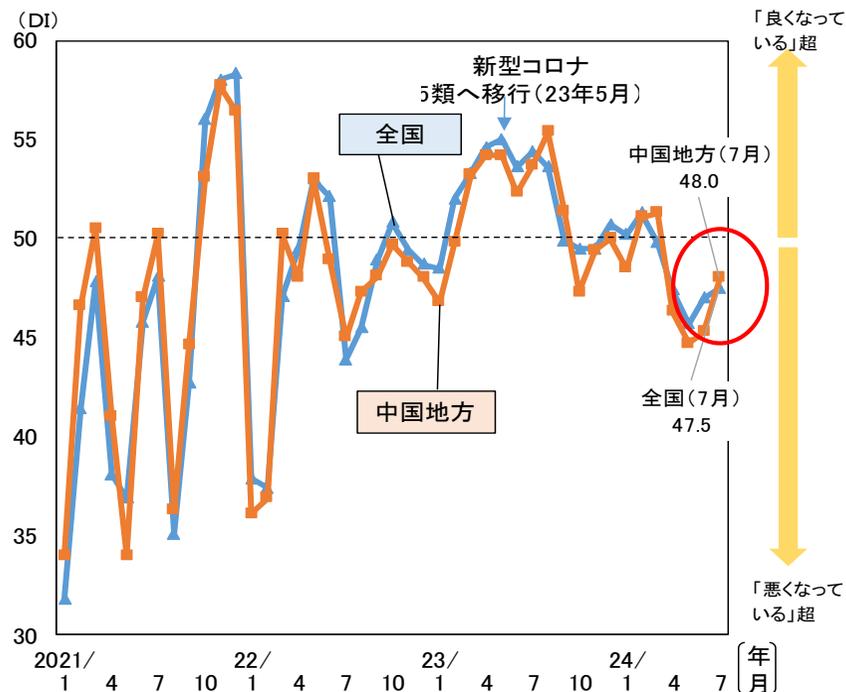
（※）業況判断DI：景気が「良い」と回答した企業割合－景気が「悪い」と回答した企業割合

日銀短観 業種別業況判断DIの推移（広島県）



（資料）日本銀行広島支店「短観」より当部作成

景気ウォッチャー調査 現状判断DIの推移（全国・中国地方）

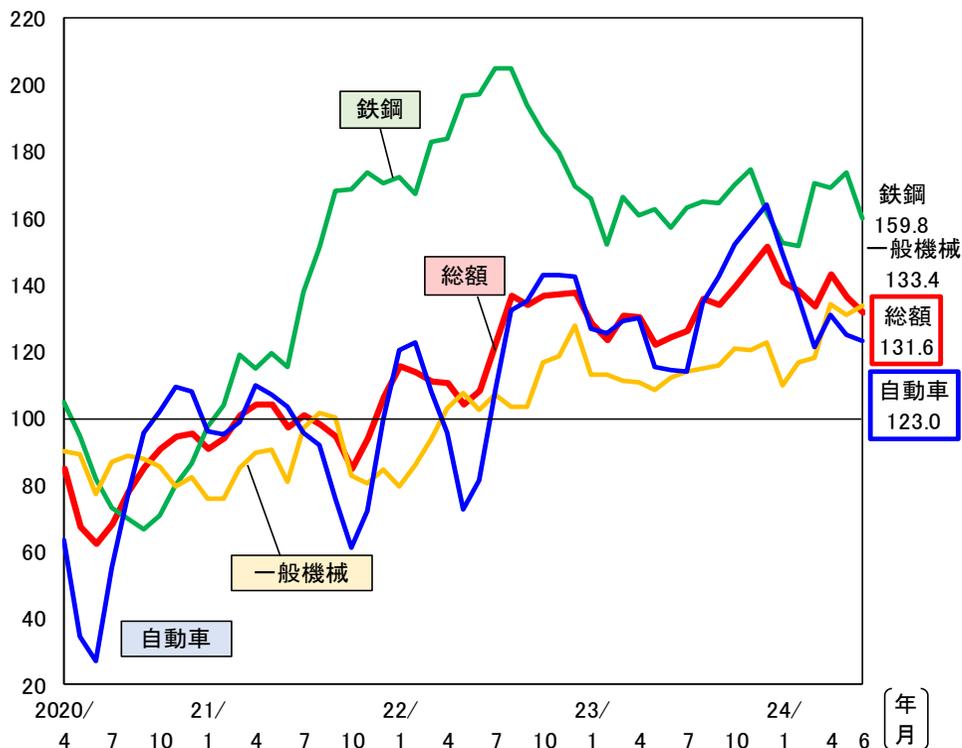


（資料）内閣府「景気ウォッチャー調査」より当部作成

- 最近の広島県の名目輸出金額は、円安の進行等を背景にコロナ禍前の2019年を大きく上回って推移しているが、数量面の増加が進まない中で、伸び悩んでいる。
- 2024年4-6月期は、米国や豪州、アジア向けを中心に持ち直し前年を上回っているものの、中国向けが引き続き低水準にとどまるなど、一部に弱めの動きがみられる。

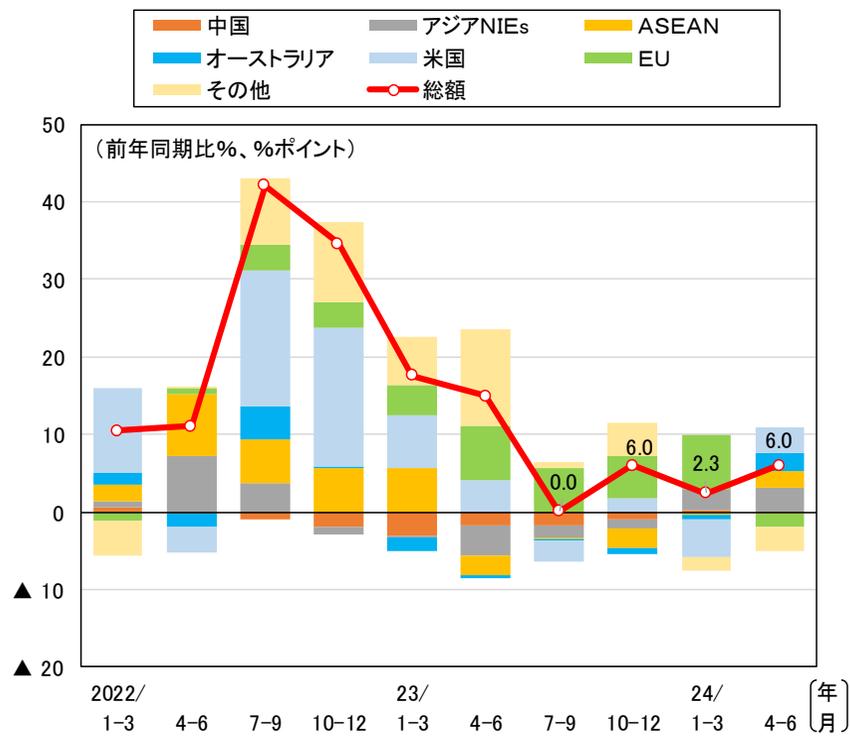
品目別の輸出金額の推移（広島県）

(2019年平均=100)



(資料) 神戸税関資料より当部作成

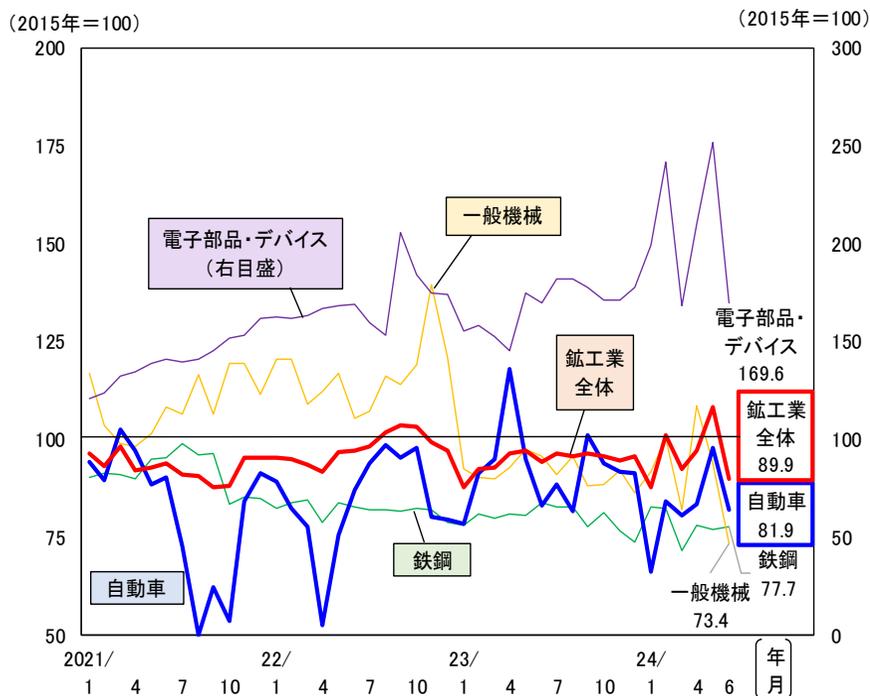
国・地域別の輸出金額の推移（広島県）



(資料) 神戸税関資料より当部作成

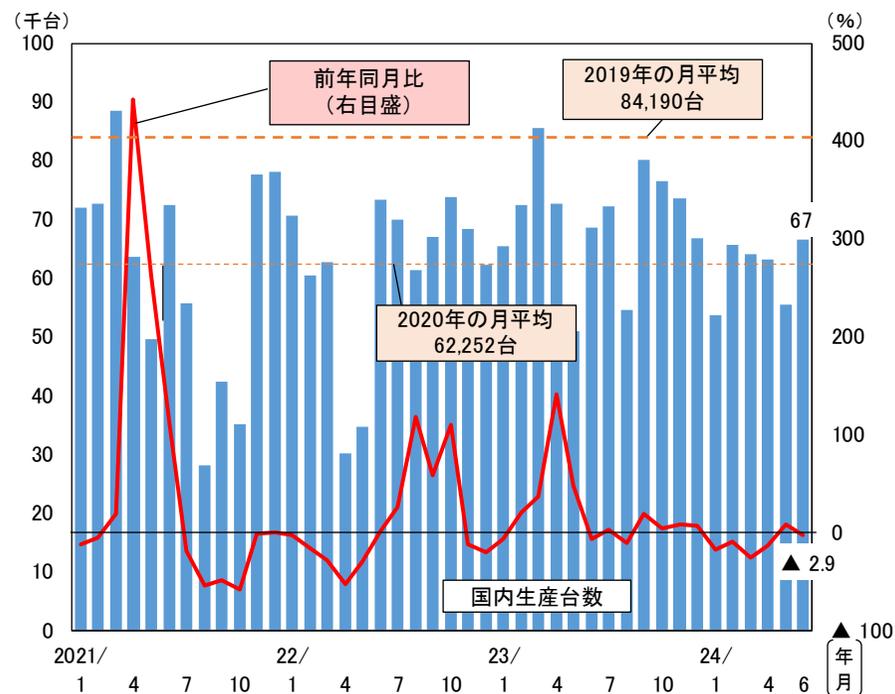
- 2024年6月の鉱工業生産指数は89.9と、全体として足踏み感の強い展開となっている。このうち、電子部品・デバイスは好調に推移しているものの、主力の自動車のほか、一般機械、鉄鋼などで弱含んでいる。
- 因みに、2024年6月のマツダの国内生産台数は67千台（前年同月比▲2.9%）と、2ヵ月ぶりに前年を下回った。

#### 業種別の鉱工業生産指数の推移（広島県）



(資料) 広島県資料より当部作成

#### マツダの国内生産台数の推移



(資料) マツダ(株)資料より当部作成

- 日銀短観（2024年6月調査）によれば、県内企業の2024年度の経常利益は前年度比▲13.0%と、2桁の減益を計画。とくに非製造業（同▲23.4%）では、大企業を中心に減少幅が大きくなる見込みである。
- なお、仕入価格判断DI、販売価格判断DI（※）とも、一旦はピークを打ったものの、年初以降の円安進行に伴う輸入物価上昇の中で再び上昇に転じており、今後も価格転嫁の動きは続く可能性が高い。

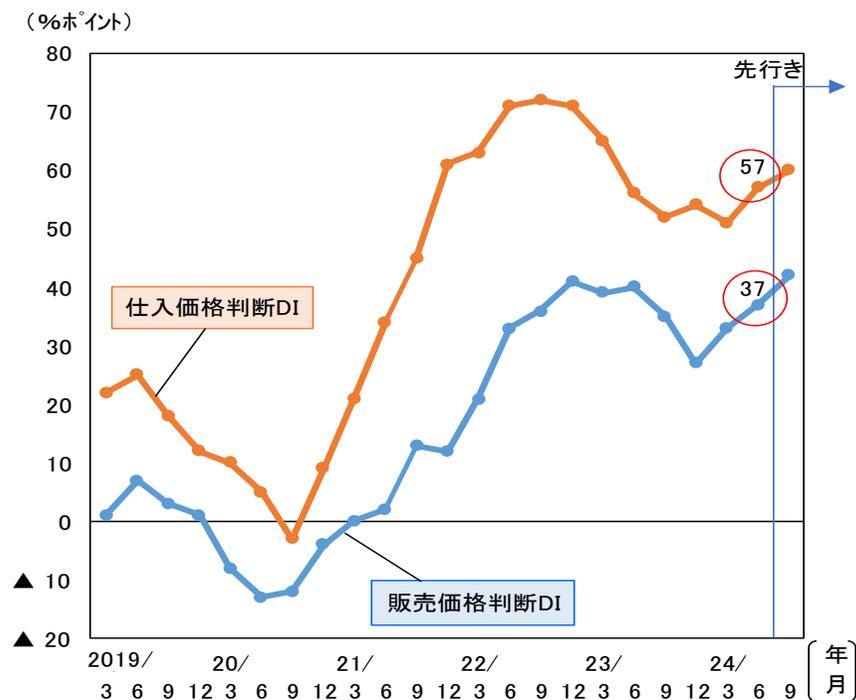
（※）仕入（販売）価格判断DI：仕入（販売）価格が「上昇」と回答した企業割合－仕入（販売）価格が「下落」と回答した企業割合

### 売上高・経常利益の計画（広島県）

	(前年度比、%)			
	売上高		経常利益	
	23年度 (実績)	24年度 (計画)	23年度 (実績)	24年度 (計画)
全産業	+6.8	+1.3	+172.6	▲13.0
製造業	+12.9	+1.0	+62.0	▲4.2
大企業	+15.7	+0.2	+93.0	▲1.8
中堅企業	▲0.4	+5.1	+2.2	▲13.5
中小企業	+12.9	+1.4	+49.1	▲3.3
非製造業	▲0.1	+1.7	+1329.3	▲23.4
大企業	▲1.9	+2.2	利益転化	▲26.1
中堅企業	+9.0	▲0.2	+6.9	+7.3
中小企業	+6.2	+0.0	+25.0	▲16.4

(注) 想定為替レート：144.28円/ドル  
 (資料) 日本銀行広島支店「短観」より当部作成

### 仕入・販売価格判断DIの推移（広島県）



(資料) 日本銀行広島支店「短観」より当部作成

## 5. 設備投資

- 日銀短観6月調査によれば、2024年度の県内企業の設備投資は前年度比+30.6%と、製造業（同+15.5%）、非製造業（同+38.7%）ともに大幅な増加を計画。
- 当部アンケート（2024年5月実施）においても前年度比+16.1%と、製造業（自動車関連）を中心に2桁の増加を見込んでおり、設備投資は引き続き堅調に推移する見通しである。

20204年度の設備投資計画額  
(日銀短観6月調査)

(前年度比、%)

	23年度 (実績)	24年度 (計画)
全産業	+9.1	+30.6
製造業	+3.5	+15.5
大企業	+5.4	+12.2
中堅企業	+3.0	+51.5
中小企業	▲5.3	▲26.5
非製造業	+12.3	+38.7
大企業	+12.0	+46.0
中堅企業	+12.9	▲15.2
中小企業	+21.1	▲25.1

(注) 土地投資額を含む

(資料) 日本銀行広島支店「短観」より当部作成

2024年度の設備投資計画額  
(当部調査)

(前年度比、%)

	23年度 (見込)	24年度 (計画)
全産業	▲5.9	+16.1
製造業	▲6.1	+27.5
資本金		
1億円以上	▲2.1	+24.0
5千万円～1億円未満	▲10.3	+50.2
5千万円未満	▲14.9	+1.1
非製造業	▲5.7	▲0.2
資本金		
1億円以上	+3.3	+13.9
5千万円～1億円未満	▲26.6	+6.5
5千万円未満	▲7.9	▲22.5

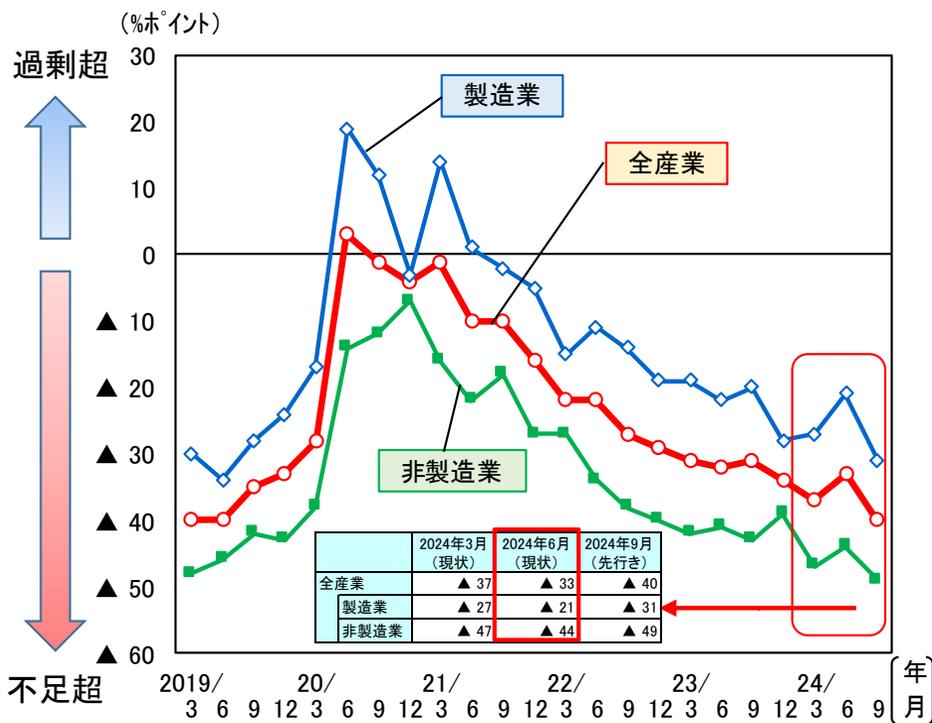
(資料) 当部「広島県内企業の設備投資計画について」(2024年5月実施)

## 6. 雇用・所得環境（1）

- 日銀短観（2024年6月調査）によれば、全産業の雇用人員判断DI（※）は▲33%ポイントと、人手不足感の強い状況が継続。先行きは▲40%ポイントと、マイナス幅がさらに拡大する見通しである。
- なお、2024年6月の有効求人倍率は1.41倍で前月比▲0.02ポイント低下。職種別（常用フルタイム）には、建設・採掘（6.40倍）が突出しているほか、販売、サービス職業、輸送・機械運転、生産工程の従事者などで2.5倍を超える倍率となっている。

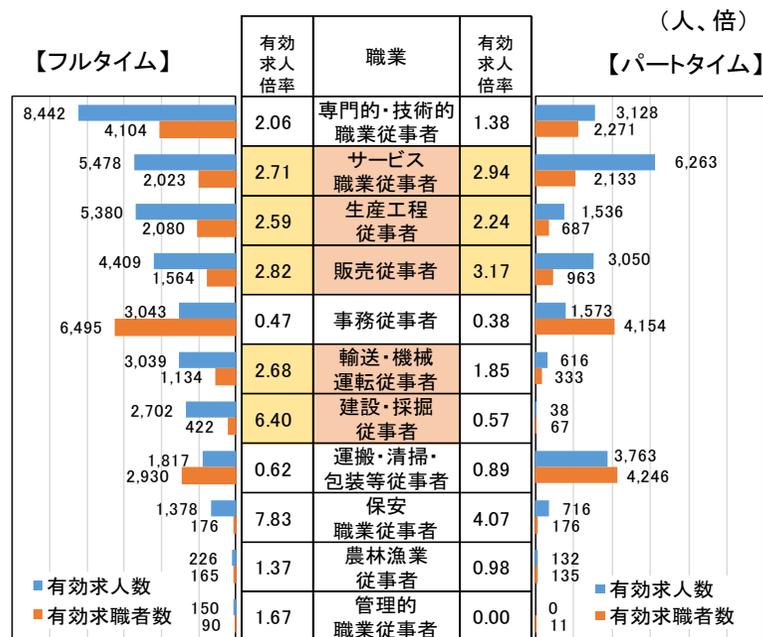
（※）雇用人員判断DI：雇用人員が「過剰」と回答した企業割合－雇用人員が「不足」と回答した企業割合

### 雇用人員判断DIの推移（広島県）



（資料）日本銀行広島支店「短観」より当部作成

### 職種別の有効求人倍率（2024年6月、広島県）

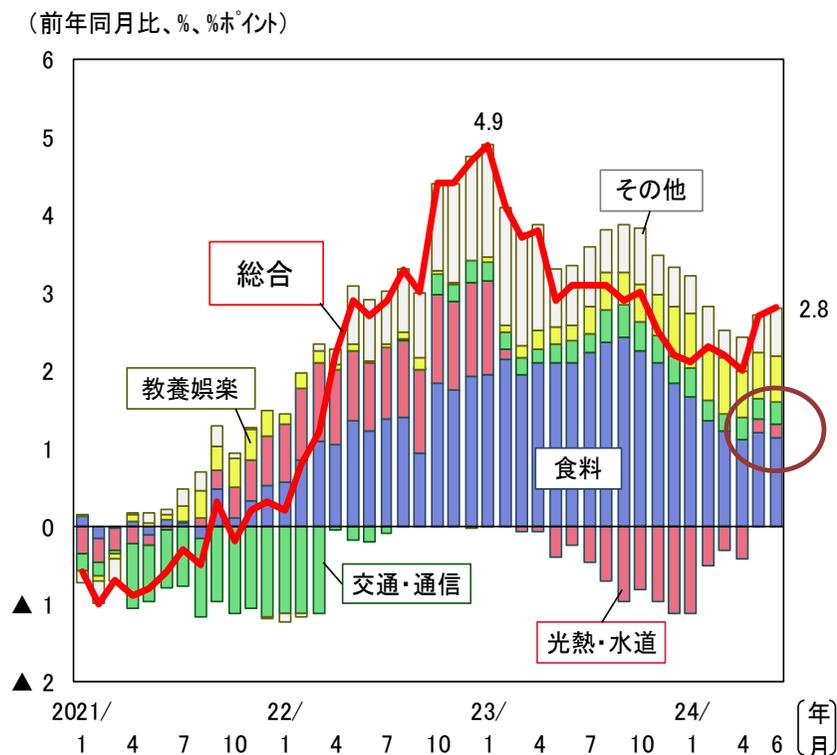


（資料）広島労働局資料より当部作成

## 6. 雇用・所得環境（2）

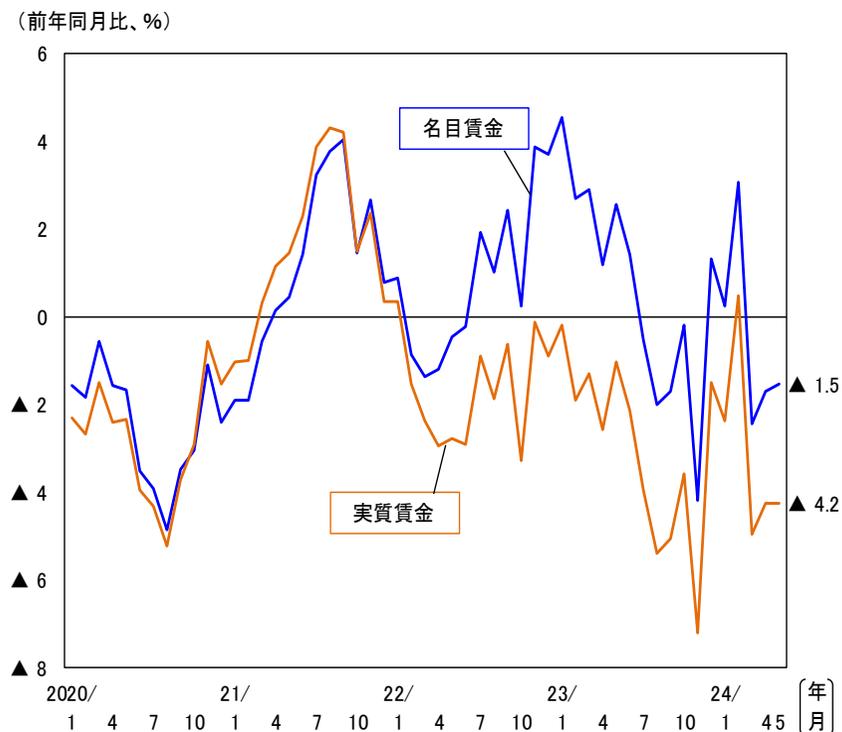
- 2024年6月の広島市の消費者物価指数（総合）は前年同月比+2.8%とプラス幅が拡大。再エネ賦課金の引上げに加えて、電気・ガス料金の価格抑制策の終了に伴い、光熱・水道が2か月連続で前年を上回った。
- こうした中で、2024年5月の広島県の名目賃金（3か月移動平均）は前年同月比▲1.5%、実質賃金は同▲4.2%と、ともに3か月連続のマイナスとなった。

### 消費者物価指数（総合）の推移（広島市）



（注）棒グラフは消費者物価上昇率に対する費目別の寄与度  
（資料）総務省資料より当部作成

### 名目賃金・実質賃金の推移（広島県）



（注）従業員数30人以上の事務所、3か月移動平均値  
（資料）厚生労働省資料より当部作成

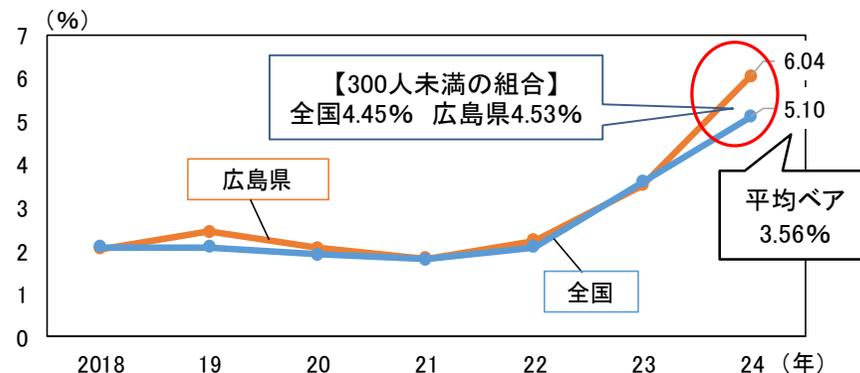
## 6. 雇用・所得環境（3）

- 広島県の実質賃金はマイナス圏内での推移が続いているものの、全国は直近6月の実質賃金が27か月ぶりに前年を上回った。
- 所定内給与の伸びも徐々に高まりつつある中で、今春闘の賃上げの浸透やボーナスの増加を受けて、実質賃金がプラスに転じ、定着することが期待される。

### 実質賃金の推移

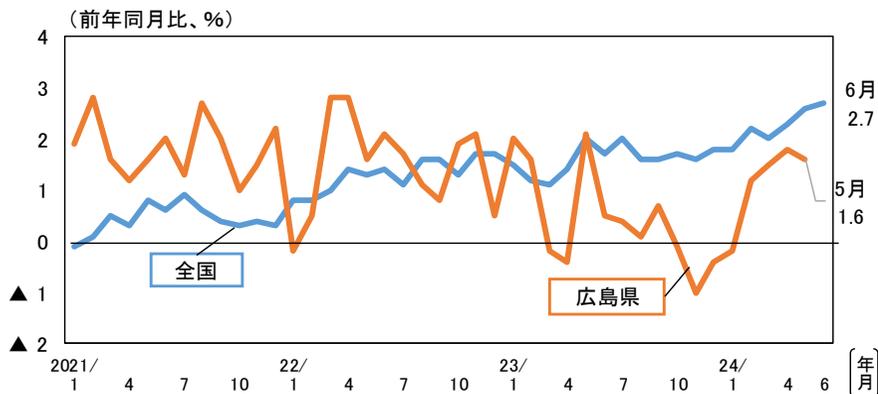


### 連合 春闘賃上げ率の推移



（資料）連合、連合広島資料より当部作成

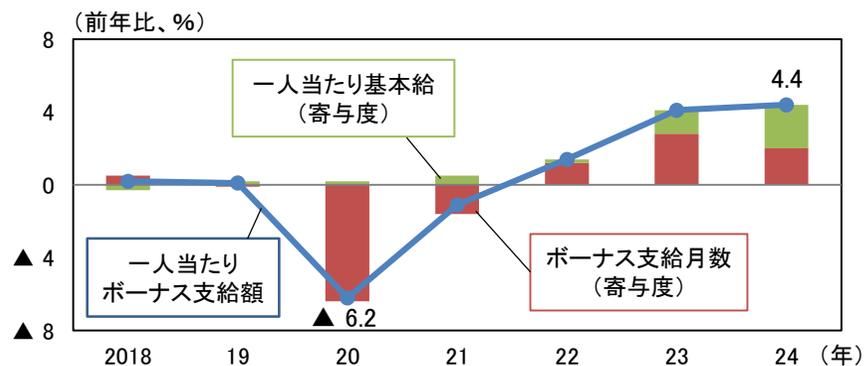
### 一般労働者の所定内給与の推移



（注）従業員数5人以上の事業所

（資料）厚生労働省、広島県資料より当部作成

### 夏季ボーナス支給額の推移

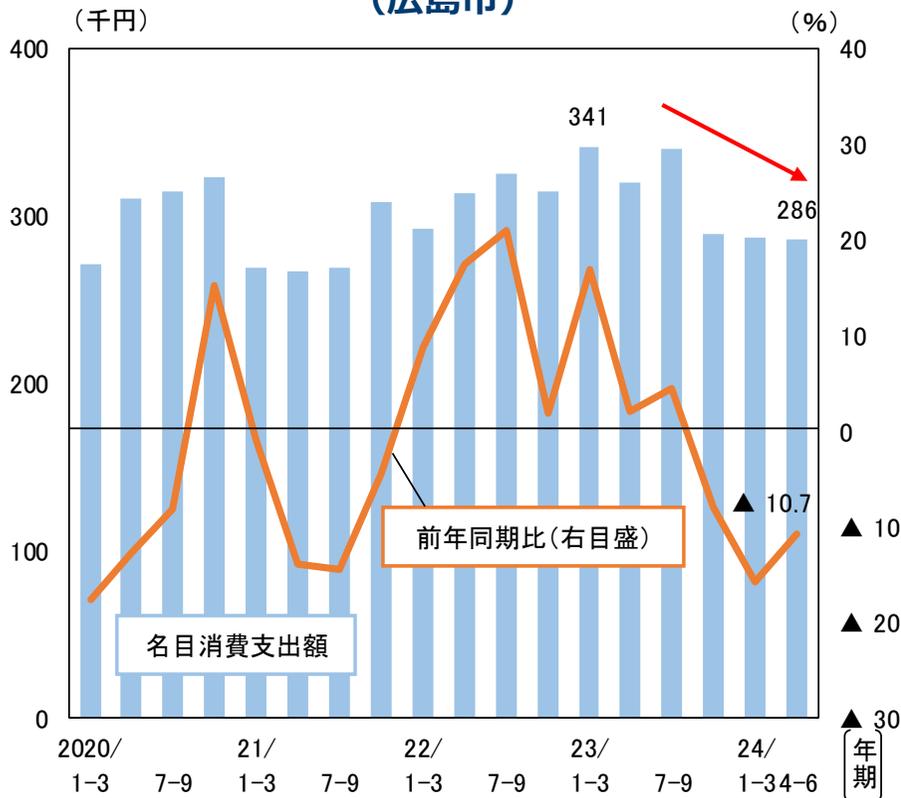


（資料）当部「2024年夏季ボーナスアンケート（2024年5月実施）」

## 7. 個人消費（1）

- 広島市の家計の消費支出額（3ヵ月移動平均）は物価上昇に伴う節約志向の強まりを反映して、2023年後半以降、減少基調にある。
- こうした中で、足下では、「光熱・水道」が前年を上回って推移する一方、「食料」は過去2年を下回って推移している。

### 世帯当たりの月平均消費支出額の推移 （広島市）

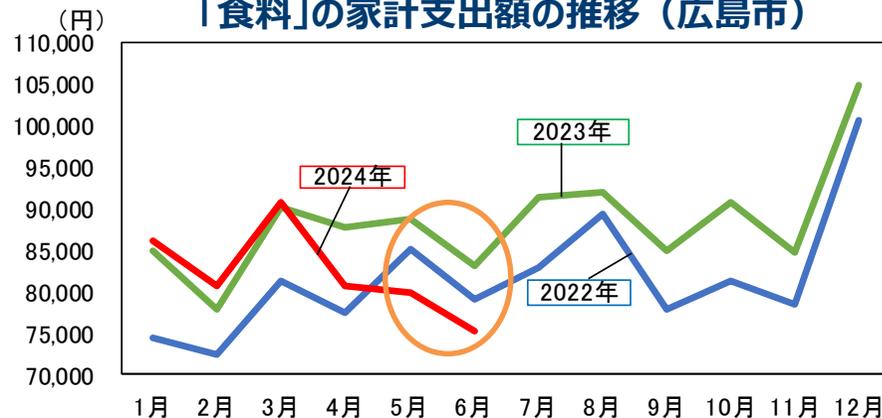


（注）二人以上の世帯のうち勤労者世帯、3ヵ月移動平均値  
（資料）総務省資料より当部作成

### 「光熱・水道」の家計支出額の推移（広島市）



### 「食料」の家計支出額の推移（広島市）



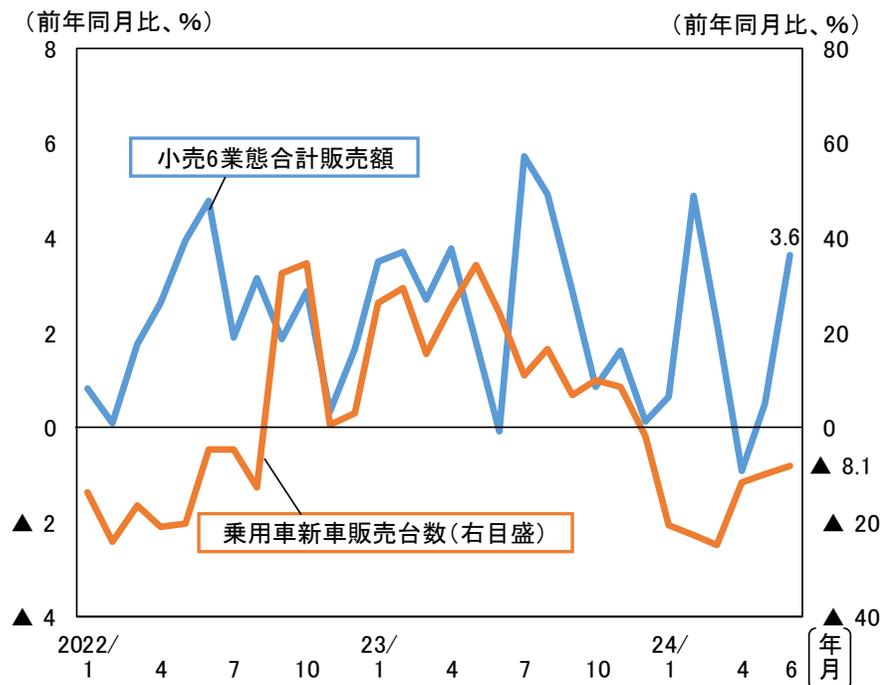
（注）二人以上の世帯  
（資料）総務省資料より当部作成

## 7. 個人消費（2）

- 2024年6月の広島県の小売6業態（※）の販売額は前年同月比+3.6%と、スーパーやドラッグストアが底堅く推移したほか、家電大型専門店も前年を上回った。
- 一方、乗用車新車販売台数は同▲8.1%とマイナス幅が縮小。不正認証問題の影響は徐々に薄らぎつつある。

（※）小売6業態：百貨店、スーパー、家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンター、コンビニエンスストア

### 小売6業態の販売額と乗用車新車販売台数の推移 （広島県・月次ベース）



（資料）経済産業省、自販連、軽自動車協会連合会資料より当部作成

### 小売業態別の販売額と乗用車新車販売台数の推移 （広島県・四半期ベース）

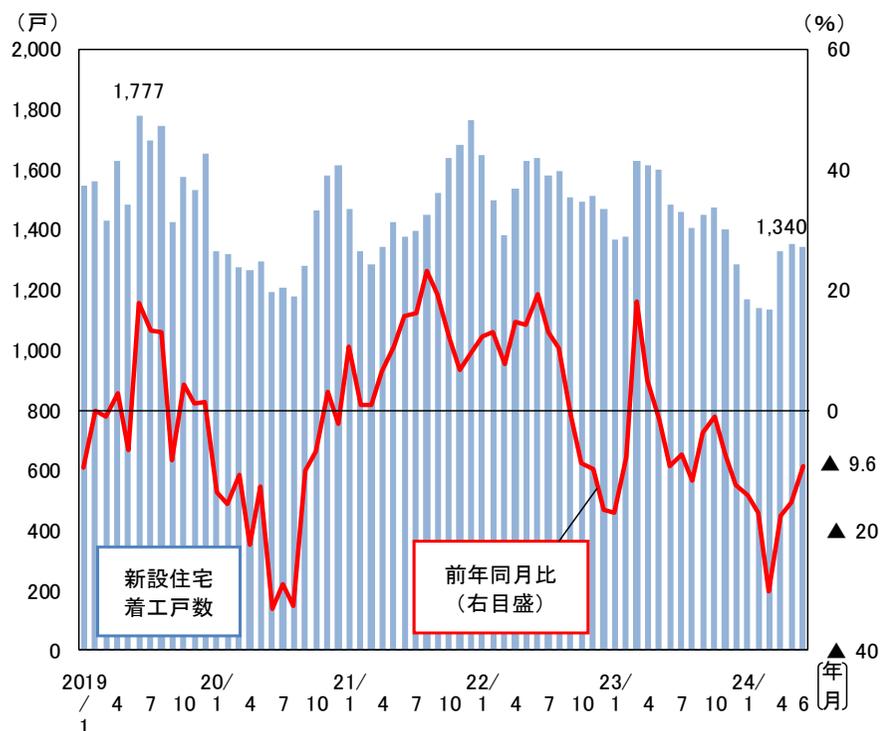
	2023年			2024年	
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月
小売6業態販売額	+ 1.8	+ 4.6	+ 0.8	+ 2.5	+ 1.1
百貨店	▲ 6.4	+ 0.8	▲ 9.0	▲ 5.5	▲ 7.2
スーパー	+ 5.3	+ 6.5	+ 4.1	+ 7.0	+ 3.8
家電大型専門店	▲ 3.7	+ 5.0	▲ 3.8	▲ 2.2	▲ 0.2
ドラッグストア	+ 6.5	+ 8.0	+ 7.5	+ 7.9	+ 4.5
コンビニエンスストア	+ 3.1	+ 3.3	+ 1.1	+ 1.1	▲ 0.0
ホームセンター	▲ 3.7	+ 0.3	▲ 1.6	▲ 0.6	+ 0.5
乗用車新車販売台数	+ 27.5	+ 10.8	+ 5.4	▲ 23.1	▲ 9.8
普通・小型乗用車	+ 35.0	+ 13.8	+ 11.5	▲ 22.3	▲ 6.7
軽乗用車	+ 16.4	+ 5.9	▲ 3.3	▲ 24.5	▲ 15.1

（資料）経済産業省、自販連、軽自動車協会連合会資料より当部作成

## 8. 住宅投資・公共投資

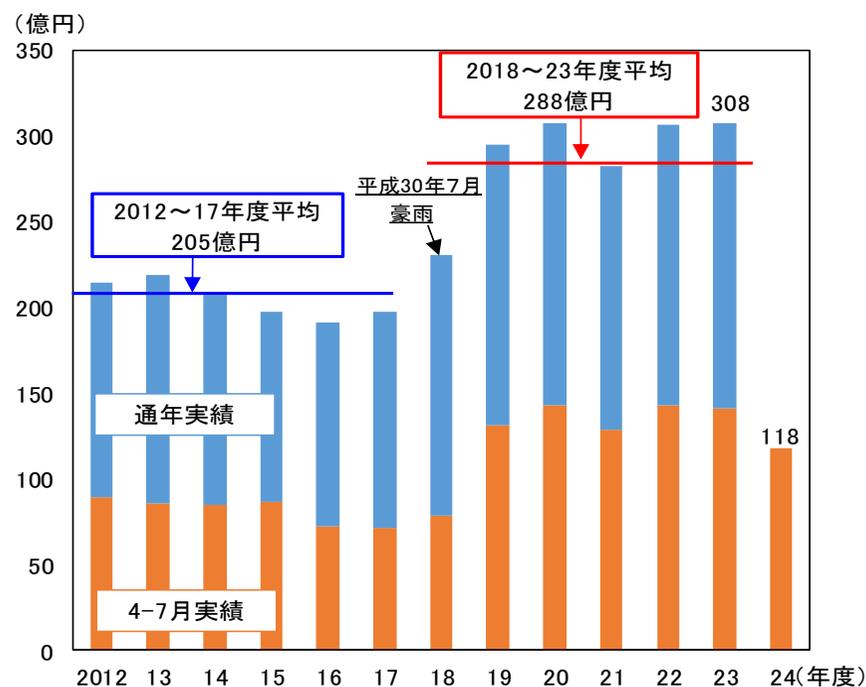
- 2024年6月の広島県の新設住宅着工戸数（3ヵ月移動平均）は1,340戸（前年同月比▲9.6%）と、住宅価格上昇の中で前年を下回って推移している。
- 広島県の公共工事請負金額は2019年度以降、「平成30年7月豪雨」災害復旧工事に加えて、減災・防災など国土強靱化の動きの中で高水準が持続。今後も底堅い推移が見込まれる。

### 新設住宅着工戸数の推移（広島県）



(注) 3ヵ月移動平均値  
 (資料) 国土交通省資料より当部作成

### 公共工事請負金額の推移（広島県）



(注) 折れ線グラフの直近値は前年同期比  
 (資料) 西日本建設業保証(株)資料より当部作成

IV. 主要経済指標 1

【広島県】

p 速報値 r 修正値

年月	推計人口		景気動向		生産活動								個人消費													
			業況判断D I		鉱工業生産指数		鉱工業出荷指数		鉱工業在庫指数		自動車生産台数		百貨店・スーパー販売額		百貨店販売額		スーパー販売額		家電大型専門店販売額		ホームセンター販売額		乗用車新車販売台数(含む軽乗用車)			
	前年(月)差	全産業	うち製造業	15年=100	前年比	15年=100	前年比	15年=100	前年比	[マツダ]	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	千台	前年比			
21	2,779	▲20,388		92.9	3.9	92.5	4.3	86.4	15.8		736	▲1.5	4,059	0.1	1,166	0.3	2,893	0.0	1,111	▲2.7	920	▲1.8	96,044	▲4.2		
22	2,760	▲19,612		97.5	5.0	96.7	4.5	93.5	8.2		735	▲0.1	4,161	2.5	1,204	3.3	2,957	2.2	1,098	▲1.2	905	▲1.7	90,118	▲6.2		
23	2,739	▲20,256		96.0	▲1.5	95.4	▲1.3	91.0	▲2.7		839	▲14.2	4,273	2.7	1,174	▲2.5	3,099	4.8	1,088	▲1.0	889	▲1.8	104,637	16.1		
23.5	2,745	167		96.9	1.6	92.9	0.5	101.8	8.9		51	47.3	340	0.5	84	▲10.7	256	4.8	80	▲1.0	78	▲4.7	7,170	34.2		
6	2,744	▲1,128	11	94.1	▲4.2	100.6	4.5	88.9	▲11.1		69	▲6.5	344	0.7	98	▲8.1	246	4.7	85	▲7.2	71	▲3.7	8,745	24.0		
7	2,743	▲1,087		96.1	▲2.0	94.6	▲3.2	95.0	1.6		72	3.2	387	5.4	114	0.3	273	7.6	113	11.1	79	4.1	8,474	11.0		
8	2,742	▲1,271		95.7	▲6.1	93.5	▲7.1	91.1	▲10.4		54	▲11.3	358	7.0	88	7.5	270	6.8	85	2.4	74	▲2.8	7,272	16.3		
9	2,740	▲1,539	14	96.4	▲5.0	96.4	▲4.1	96.2	▲3.2		80	19.4	324	2.3	80	▲5.0	245	4.9	90	0.4	68	▲0.5	9,205	6.7		
10	2,739	▲991		95.4	▲5.0	94.4	▲6.8	100.5	11.1		76	3.7	351	0.0	91	▲11.3	260	4.7	75	▲9.3	77	▲3.0	8,655	9.9		
11	2,738	▲1,045		94.5	▲3.5	95.2	▲0.5	96.8	2.1		74	7.5	356	0.5	101	▲8.6	255	4.6	85	1.1	72	1.4	8,931	8.3		
12	2,737	▲1,331	18	95.4	▲1.8	93.1	▲3.5	96.5	▲2.8		67	7.0	454	▲0.2	132	▲7.8	322	3.3	111	▲3.5	90	▲2.8	7,642	▲2.0		
24.1	2,735	▲2,130		87.7	1.5	87.2	▲4.5	90.7	0.7		54	▲18.1	359	1.4	91	▲8.8	268	5.3	87	▲7.0	64	▲1.4	7,194	▲20.8		
2	2,732	▲2,684		100.9	9.1	92.4	▲1.8	102.6	4.6		66	▲9.4	332	6.0	88	▲1.8	244	9.2	81	▲1.6	63	▲0.3	7,390	▲22.8		
3	2,730	▲2,142	17	92.4	▲2.7	93.2	▲2.3	103.2	8.2		64	▲25.1	363	3.0	100	▲5.6	263	6.7	114	1.3	73	▲0.2	9,130	▲25.0		
4	2,722	▲7,762		96.9	2.4	99.1	6.6	90.4	▲7.1		63	▲13.2	334	▲1.8	80	▲12.4	254	2.1	72	▲3.0	80	▲0.5	6,814	▲11.8		
5	2,724	1,260		r 108.2	12.4	r 104.7	13.5	r 96.9	▲5.2		56	8.8	344	1.1	83	▲1.9	261	2.1	72	▲9.5	78	0.1	6,466	▲9.8		
6	2,722	▲1,250	21	p 89.9	▲6.9	p 91.3	▲11.4	p 96.3	8.1		67	▲2.9	p 355	3.3	p 91	▲6.9	p 264	7.3	p 95	10.9	p 73	2.0	8,039	▲8.1		
7	2,721	▲1,382																								
出所	広島県		日本銀行広島支店		広島県								マツダ		経済産業省										自販連・軽自動車協会連合会	

(注1)推計人口の各年は10月1日の数値、各月は1日現在の数値。(注2)鉱工業生産指数、同出荷指数、同在庫指数は季節調整済みの値。但し、前年比は原指数による。(注3)全国の2020年推計人口前年差の数値は増減数。(2020年国勢調査で基準を見直したため)(注4)百貨店・スーパー販売額、百貨店販売額、スーパー販売額は、金額、前年比ともに全店舗

【全国】

p 速報値 r 修正値

年月	推計人口		景気動向		生産活動								個人消費													
			業況判断D I		鉱工業生産指数		鉱工業出荷指数		鉱工業在庫指数		自動車生産台数		百貨店・スーパー販売額		百貨店販売額		スーパー販売額		家電大型専門店販売額		ホームセンター販売額		乗用車新車販売台数(含む軽乗用車)			
	前年(月)差	全産業	うち製造業	20年=100	前年比	20年=100	前年比	20年=100	前年比		前年比	百億円	前年比	百億円	前年比	百億円	前年比	百億円	前年比	百億円	前年比	千台	前年比			
21	12,550	▲64		105.4	5.4	104.4	4.4	89.8	▲10.2		7,847	▲2.7	1,991	0.9	490	4.5	1,500	▲0.3	469	▲2.3	339	▲3.0	3,676	▲3.5		
22	12,495	▲56		105.3	▲0.1	103.9	▲0.5	96.6	7.6		7,835	▲0.2	2,066	3.8	551	12.3	1,515	1.0	468	0.0	334	▲1.4	3,448	▲6.2		
23	12,435	▲60		104.1	▲1.1	103.4	▲1.5	104.0	7.7		8,999	14.9	2,161	4.6	596	8.2	1,565	3.3	463	▲1.2	334	0.0	3,993	15.8		
23.5	12,448	▲7		104.1	4.1	103.5	3.8	105.5	7.2		624	48.4	174	3.7	45	5.3	129	3.2	35	▲4.6	30	▲2.0	272	28.4		
6	12,451	3	8	▲1	105.0	▲0.1	104.3	0.7	105.5	5.7		763	14.2	175	4.3	48	5.7	126	3.8	37	▲6.2	28	▲1.8	332	23.9	
7	12,452	1		103.5	▲2.6	102.9	▲2.0	105.7	5.5		778	11.2	187	5.9	52	7.6	135	5.2	45	5.2	30	5.2	232	▲19.6		
8	12,444	▲8		103.1	▲4.7	102.7	▲3.1	104.5	3.0		639	9.4	179	6.5	43	10.9	136	5.1	38	3.9	28	0.9	281	19.8		
9	12,435	▲9	10	0	103.2	▲4.5	103.3	▲2.4	103.6	0.0		841	10.9	171	4.8	46	8.1	125	3.7	38	▲0.4	25	▲0.8	363	11.8	
10	12,435	0		104.4	0.9	103.6	0.8	103.6	0.8		818	17.9	180	3.9	50	5.3	130	3.4	34	▲3.4	28	▲1.5	334	13.1		
11	12,434	▲1		103.8	▲1.6	102.8	▲1.7	103.6	0.9		857	11.7	184	4.4	55	6.4	129	3.6	37	3.3	28	3.1	344	11.7		
12	12,430	▲4	13	5	105.0	▲1.1	104.4	0.2	102.7	▲0.5		741	6.1	228	2.6	71	4.4	158	1.8	47	▲3.4	33	▲2.2	302	6.1	
24.1	12,414	▲16		98.0	▲1.5	96.6	▲1.7	101.0	▲1.8		578	▲6.8	183	3.3	50	5.9	132	2.4	39	▲6.0	24	▲1.0	285	▲10.8		
2	r 12,411	▲3		97.4	▲3.9	95.9	▲4.7	101.6	▲1.7		617	▲16.5	170	7.6	47	13.5	123	5.5	34	▲1.4	23	1.3	298	▲16.2		
3	12,397	▲14	12	4	101.7	▲6.2	100.4	▲6.8	102.6	▲1.0		710	▲18.0	189	6.9	56	9.6	133	5.8	46	6.3	27	2.5	384	▲19.6	
4	12,400	3		100.8	▲1.8	100.0	▲1.4	102.4	▲2.4		646	▲9.1	176	3.0	49	8.3	127	1.1	35	3.5	30	0.9	259	▲10.6		
5	12,393	▲7		r 104.4	1.1	r 103.9	1.3	r 103.3	▲2.1		651	4.5	182	4.4	51	13.7	131	1.2	35	0.6	31	1.0	261	▲3.9		
6	12,389	▲4	12	5	p 100.6	▲7.3	p 99.4	▲7.7	p 102.7	▲2.6			p 187	6.9	p 55	13.5	p 132	4.4	p 40	10.3	p 29	4.6	312	▲6.1		
7	p 12,396	7																								
出所	総務省		日本銀行		経済産業省								自工会		経済産業省										自販連・軽自動車協会連合会	

(注1)推計人口の各年は10月1日の数値、各月は1日現在の数値。(注2)鉱工業生産指数、同出荷指数、同在庫指数は季節調整済みの値。但し、前年比は原指数による。(注3)全国の2020年推計人口前年差の数値は増減数。(2020年国勢調査で基準を見直したため)(注4)百貨店・スーパー販売額、百貨店販売額、スーパー販売額は、金額、前年比ともに全店舗

IV. 主要経済指標 2

【広島県】

p 速報値 r 修正値

年月	建設投資				公共投資		貿易動向				物価動向		企業倒産				雇用動向		金融関係指標(月末[年末]値)					
	新設住宅着工戸数		建築着工床面積 (非居住用)		公共工事請負金額		輸出通関実績		輸入通関実績		消費者物価指数		件数		負債総額		求人倍率		県内銀行預金残高		県内銀行貸出金残高		資金需給実績等	
	戸	%	千㎡	%	億円	%	億円	%	億円	%	20年=100	%	件	%	百万円	%	倍	倍	億円	%	億円	%	億円	億円
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	新規	有効	前年比	前年比	前年比	前年比	発行高	受入高
21	17,809	11.0	776,630	▲22.8	2,881	▲8.5	22,291	18.2	11,420	39.3	99.6	▲0.4	96	▲42.5	14,711	▲47.5	2.57	1.38	147,803	4.1	108,298	3.4	2,093	1,342
22	17,973	0.9	736,406	▲5.2	2,979	3.4	27,453	23.2	16,223	42.5	102.0	2.5	106	▲36.5	32,755	16.8	2.83	1.57	152,927	3.5	113,936	5.2	2,010	1,517
23	17,515	▲2.5	746,498	1.4	3,038	2.0	30,234	10.1	14,963	▲7.8	105.2	3.1	157	48.1	18,956	▲42.1	2.80	1.55	157,561	3.0	117,675	3.3	1,936	1,572
23.5	1,624	7.6	54,523	▲7.7	122	▲66.4	1,824	5.2	1,259	▲5.6	104.7	2.9	7	▲22.2	704	64.1	2.79	1.56	154,993	2.9	113,941	4.6	887	1,807
6	1,512	0.6	32,721	▲32.5	680	103.1	2,792	16.6	1,345	▲9.3	105.0	3.2	10	▲16.7	748	▲96.4	2.89	1.56	156,107	3.7	114,521	4.9	1,196	1,623
7	1,239	▲27.9	74,516	59.5	275	▲6.8	2,449	▲10.1	1,135	▲27.7	105.4	3.0	10	100.0	716	33.1	2.71	1.53	156,372	3.0	114,972	5.0	1,012	1,516
8	1,458	▲6.4	36,565	▲35.8	236	▲6.6	2,352	▲7.1	1,133	▲24.0	105.7	2.9	21	110.0	5,608	381.4	2.76	1.53	157,033	3.8	115,056	3.9	1,189	1,685
9	1,646	31.9	44,876	▲59.4	283	▲10.5	2,697	20.5	1,216	1.4	105.5	2.6	13	116.7	2,762	1,831.5	2.81	1.52	156,919	3.2	115,565	3.0	1,008	1,602
10	1,317	▲20.9	120,345	91.5	228	28.3	2,749	▲4.2	1,300	▲15.6	106.3	2.7	19	216.7	1,693	21.1	2.77	1.52	157,047	3.0	115,401	2.2	1,137	1,582
11	1,237	▲23.8	54,379	59.6	146	▲14.6	2,704	5.2	1,233	▲9.9	106.2	2.2	12	▲14.3	1,337	▲45.6	2.79	1.50	156,357	3.1	115,945	2.5	1,113	1,517
12	1,296	16.2	29,953	▲17.7	144	11.6	3,026	34.1	1,250	▲9.7	106.3	1.9	20	81.8	2,115	20.2	2.88	1.50	157,561	3.0	117,675	3.3	1,936	1,572
24.1	971	▲28.1	80,213	12.7	210	88.0	2,145	▲9.3	1,144	▲23.2	106.5	1.9	15	25.0	2,221	107.6	2.76	1.50	156,641	3.7	117,222	3.2	670	1,965
2	1,150	▲30.9	51,975	▲19.8	142	▲34.9	2,544	11.6	1,183	7.0	106.3	2.3	20	122.2	2,317	677.5	2.82	1.53	156,947	3.2	117,899	3.5	981	1,460
3	1,273	▲31.7	28,352	▲31.7	276	6.9	2,790	4.7	1,190	▲11.8	106.4	2.2	21	31.3	21,008	1,627.6	2.96	1.54	160,878	4.2	118,330	3.7	1,029	1,603
4	1,558	19.0	91,820	▲24.2	409	21.6	2,687	15.1	1,266	12.7	106.7	1.8	16	100.0	1,776	157.8	2.57	1.49	160,918	3.2	117,673	2.8	1,243	1,638
5	1,223	▲24.7	62,798	15.2	178	45.8	2,134	17.0	1,265	0.5	107.4	2.5	20	185.7	2,538	260.5	2.43	1.43	163,964	5.8	118,592	4.1	1,032	1,950
6	1,239	▲18.1	67,782	107.2	282	▲58.5	2,545	▲8.8	1,280	▲4.9	107.8	2.6	15	50.0	2,768	270.1	2.81	1.41	163,138	4.5	119,359	4.2		
7					308	11.9							21	110.0	2,777	204.1								
出所	国土交通省				西日本建設業保証 広島支店		神戸税関				広島県		東京商工リサーチ広島支社				広島労働局		日本銀行広島支店					

(注1)消費者物価指数は生鮮食品を除く。(注2)企業倒産は負債額1千万円以上の企業が対象。(注3)求人倍率は季節調整済みの値。

【全国】

p 速報値 r 修正値

年月	建設投資				公共投資		貿易動向				物価動向		企業倒産				雇用動向		金融関係指標(月末[年末]値)					
	新設住宅着工戸数		建築着工床面積 (非居住用)		公共工事請負金額		輸出通関実績		輸入通関実績		消費者物価指数		件数		負債総額		求人倍率		国内銀行預金残高		国内銀行貸出金残高		資金需給実績等	
	千戸	%	千㎡	%	百億円	%	百億円	%	百億円	%	20年=100	%	件	%	億円	%	倍	倍	千億円	%	千億円	%	兆円	%
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	新規	有効	前年比	前年比	前年比	前年比	M3	前年比
21	856	5.0	48,460	9.5	1,429	▲7.1	8,309	21.5	8,476	24.6	99.8	▲0.2	6,030	▲22.4	11,507	▲5.7	2.03	1.13	9,038	3.6	5,422	1.1	1,539	3.4
22	860	0.4	47,203	▲2.6	1,362	▲4.7	9,817	18.2	11,814	39.2	102.1	2.3	6,428	6.6	23,314	102.6	2.28	1.28	9,322	3.1	5,654	4.3	1,570	2.0
23	820	▲4.6	43,447	▲8.0	1,458	7.1	10,882	2.8	11,017	▲7.0	105.2	3.0	8,690	35.2	24,026	3.1	2.29	1.31	9,654	3.6	5,880	4.0	1,599	1.8
23.5	70	3.5	3,254	▲17.0	142	11.8	729	0.6	867	▲10.2	104.7	3.2	706	34.7	2,787	219.0	2.32	1.32	9,672	3.9	5,716	4.2	1,592	2.1
6	71	▲4.8	3,148	▲34.2	182	9.9	874	1.5	870	▲13.1	105.0	3.3	770	41.0	1,509	▲87.8	2.31	1.31	9,620	3.8	5,734	3.9	1,593	2.0
7	68	▲6.7	3,612	▲27.5	138	6.8	872	▲0.3	879	▲14.1	105.3	3.1	758	53.4	1,621	91.7	2.27	1.30	9,646	4.0	5,748	3.9	1,596	2.0
8	70	▲9.4	3,523	▲11.5	111	▲3.6	799	▲0.8	894	▲17.6	105.6	3.1	760	54.5	1,084	▲2.7	2.31	1.30	9,657	4.0	5,761	3.9	1,598	1.9
9	69	▲6.8	3,617	0.8	130	0.1	920	4.3	913	▲16.5	105.8	2.8	720	20.2	6,919	377.6	2.25	1.29	9,588	3.9	5,797	3.8	1,598	1.7
10	72	▲6.3	4,622	28.4	109	3.6	915	1.6	981	▲12.4	106.2	2.9	793	33.1	3,080	254.1	2.25	1.29	9,634	3.5	5,801	3.6	1,602	1.7
11	66	▲8.5	3,170	▲9.8	76	9.9	882	▲0.2	960	▲11.8	106.4	2.5	807	38.9	949	▲17.9	2.25	1.27	9,733	3.5	5,837	4.0	1,604	1.6
12	65	▲4.0	3,426	1.0	72	14.5	964	9.7	957	▲6.9	106.5	2.3	810	33.7	1,032	30.4	2.25	1.27	9,654	3.6	5,880	4.0	1,600	1.8
24.1	59	▲7.5	3,269	▲16.1	57	12.7	733	11.9	909	▲9.6	106.7	2.0	701	23.0	791	40.0	2.28	1.27	9,702	3.4	5,887	4.2	1,609	1.8
2	59	▲8.2	3,105	▲13.0	89	▲0.7	825	7.8	863	0.5	106.7	2.8	712	23.4	1,396	44.5	2.26	1.26	9,725	3.4	5,906	4.2	1,611	1.8
3	64	▲12.8	3,242	15.7	162	6.2	947	7.3	909	▲5.1	106.8	2.6	906	12.0	1,423	▲3.5	2.38	1.28	9,874	3.2	5,960	4.5	1,611	1.6
4	77	13.9	4,045	▲15.8	243	18.8	898	8.3	945	8.3	106.8	2.2	783	28.4	1,134	▲44.4	2.17	1.26	9,934	3.0	5,963	4.4	1,612	1.6
5	66	▲5.3	2,870	▲11.8	159	12.3	828	13.5	950	9.5	107.3	2.5	1,009	42.9	1,368	▲50.9	2.16	1.24	9,906	2.4	5,972	4.5	1,608	1.0
6	66	▲6.7	3,394	7.8	172	▲5.3	921	5.4	898	3.2	107.8	2.6	820	6.5	1,099	▲27.2	2.26	1.23	9,880	2.7	6,004	4.7	1,606	0.9
7					153	10.9							953	25.7	7,812	381.8								
出所	国土交通省				西日本建設業保証		財務省				総務省		東京商工リサーチ				厚生労働省		日本銀行					

(注1)消費者物価指数は生鮮食品を除く。(注2)企業倒産は負債額1千万円以上の企業が対象。(注3)求人倍率は季節調整済みの値。